



トヨタネ株式会社 本社：豊橋市向草間町字北新切12-1 / 〒441-8517 / TEL0532-45-4137(代) / FAX0532-45-4494

社内報：第33号・発行所：総務部：編集・構成：朝倉芳則

URL <https://www.toyotane.co.jp> Email : [info@toyotane.co.jp](mailto:info@toyotane.co.jp)

写真：6/2豊川リレーマラソンスタート前のアイドリリング

## 人財獲得と夏商戦を前にして



皆さんこんにちは。6月は、新入社員が仕事に慣れ始め、次年度の新卒予定者もほぼ確定する月であります。人こそ力、人は城、人づくりは企業が長期に活躍するための最大にして唯一無比の条件です。そしていよいよ当社の帰趨を制する夏商戦の始まりです。2年前までは、施設園芸も露地栽培も比較的順調でしたが、一気に様変わり、単価安に苦しむ農家は今年の作付計画や戦略を再考しなければなりません。量で勝負するのか、品質重視（高単価）か、または人件費を含む費用の削減を第一に考えるのか、立場によって様々です。

国際的な環境に目を移すと、参院選後には米国トランプ政権が農産物についてTPP以上の開放を要求することは間違いありません。米国の対イラン、対中国政策の行方

によっては重油価格が暴騰しかねません。また海洋プラスチック汚染の規制強化が緊縛の問題に急浮上、プラスチックを多用する農業に対する規制も始まることでしょう。消費者による生鮮物のネット購買も一定の地位を獲得しつつある情勢です。また後継者難による事業承継の問題は農業

にとどまらず日本の中小事業者の共通の悩み、M&Aの勧めをあおる手紙やメール、広告を見ない日はないくらいです。一方ITやAIを駆使した「スマート農業」という言葉は一人歩きしているような気がします。時代の空気は激変の最中です。

そうした中、学生会向け説明会で、「弊社の基本は相対第一、アナログ勝負、大事なのは義理と人情、涙と汗！」と昭和言葉を連発すると、意外と反応があるのも事実です。

そうした中、学生会向け説明会で、「弊社の基本は相対第一、アナログ勝負、大事なのは義理と人情、涙と汗！」と昭和言葉を連発すると、意外と反応があるのも事実です。

そうした中、学生会向け説明会で、「弊社の基本は相対第一、アナログ勝負、大事なのは義理と人情、涙と汗！」と昭和言葉を連発すると、意外と反応があるのも事実です。

そうした中、学生会向け説明会で、「弊社の基本は相対第一、アナログ勝負、大事なのは義理と人情、涙と汗！」と昭和言葉を連発すると、意外と反応があるのも事実です。

農業の基本はお天道様をいかに味方につけるか、この基本は微動だに変わっていないと私は思っています。

川西裕康

## 種苗だより

早いもので気がつけば6月、秋たねのご注文の時期がやってまいりました。

種苗部では連日、担当者が種苗メーカーへの予約発注業務で天手古舞です。

お客様のご注文にお応えできるように、商品の準備を進めております。

さて、6月12日に豊橋商工会議所の青年部が主催する『春のビジネスパーク2019』に社員4名で参加してまいりました。

『ビジネスパーク』とは豊橋市で働く大人が、自分たちの職業の内容やその職業の地域における役割、働くことの意義を中高生に授業形式で伝え、中高生に自分の将来の職業について考えて頂き、未来の地域活性化につなげる事が目的の事業です。

今回は東陵、東部、北部、南陵の4中学校で講師を体験しました。

内容は、『野菜のタネのひみつ』と題してプロの農家さんが使用する野菜種子の品質について、品種改良の話を中心に、話すばかりだと生徒さんは飽きてしまうので、品質基準に満たなかった種子を利用したタキイ種苗さんの工作キット『たねちから』のフラワーマグネットを作って頂き、野菜の種子



に実際に触れてもらいました。

生徒さんも楽しんでくれたように見えたので、将来トヨタネに入社したい中学生が出てくれるといいなあと淡い期待を持った一日でした。

坂神和孝

## 交通安全運転教育

5月29日～30日の2日間、新入社員のうち9名が、交通安全教育センターレインボー浜名湖様にて交通安全教育を受講しました。トラックやワンボックスカーは、普段自分が乗る車よりも大きく、操作や車幅の把握にそれぞれ苦労している様子でした。

スケジュールを紹介します。

1日目：まず運転適性検査を行い、座学の後、日常点検や運転姿勢などを学びました。午後からは反応体験。ラン



プが点灯してからブレーキを踏み、止まるまでの時間を測定しました。また、水をまいた路上でブレーキを踏む体験をしました。車はすぐに止まれません、車間距離はしっかり取りましょう。

2日目：ジグザグ走行を行いました。カラーコーンにぶつかる様子が見られ、難しそうです。また、模擬市街地走行や駐車練習をし、16時に研修が終了しました。

今回の研修で学んだことを、これからも気を付けていただきたいと思います。工作中は慌てたり、落ち込んだり、色々な気持ちで運転をすると想像しますが、どんな時でも安全確認を忘れないようにしてください。9名の皆様、お疲れ様でした。

伊藤さつき

## メールの書き方・内容

業務でメールが使われるようになって、無い頃に比べるととても便利になりましたが、少しでも確認できない時があると未読メールがいっぱいになってうんざりする時よくあります。未読メールがいっぱいの時ほどメールの書き方が会社・部署・人によって違うことがすごく気になり、以下のようなメールを自らが書かないように気をつけています。



- ①題名を見ても内容が分からない。読む側からすると重要度が分からないのでスルーしてしまう時もある
- ②宛先が多すぎて、誰宛ての話なのか分からない。たくさんの人に伝えているつもりが誰も責任を感じない
- ③文章を最後まで読まないで結論が分からない。そういうメールに限って文章が長いので読む人の時間を奪う
- ④資料などが添付してあるだけで、どこを見て欲しいのか不明。あまり関係の無い部分も全員が確認する必要が出てくる
- ⑤口頭で伝えるべき内容をメールで流す。急ぎの内容や根回しなど口頭で伝えるべき内容がメールだと調整がうまくいかない



改めて考えると社内でメールに関する教育が無いのですが、個人ごとのスキルではなく最低限の社員としてのスキルは必要です。今回は悪い視点から書いてみましたが、メールが便利なツールであることは間違い無いので、上手に使いながら会社全体での効率を上げていきたいと思います。

三浦慎一

## 田原営業所の取り組み

この時期6月は秋冬作の野菜やそれに関連するものを計画的に供給できる準備をしております。

先月までに果菜類など済んでおります。

休むこともなく暦は次へのステップです。野菜の種子、セル苗、それに必要な植栽資材、病害対策、土壌バランスの改善の提案。生産する畑の状態、作業計画によって栽培計画を決めます。



お客様の圃場の状態や仕事の割り振りによって栽培計画が決まります。

時には一緒になって栽培スケジュール作成をします。

また品種の提案、全体のデザインをしております。

またシーズンの建物の外や内の工事。チェンジです。



芸能界のイメチェンですね。また栽培関係のリニューアルなどなど多くあります。

相手先のかゆい所まで具体的な計画が必要となります。ハード面はデジタル的、対面ではアナログの考えです。昨年は3回も大型台風は両者に痛いものです。



こないほうが良いですがこれは天任せです。

中村 敦

## 春のビジネスパーク参加

6月12日豊橋市内の企業の人達が講師として市内の各中学校に出向き、会社の業務に関連した授業を行う「春のビジネスパーク」というイベントに参加しました。



トヨタネからは坂神部長、研究農場の立松さん、豊橋営業所の川口さんと栽培サポート課の林の計4名が講師として派遣され、「野菜のたねの秘密」というタイト

ルでそれぞれ別々の中学校で授業を行いました。

私が担当したのは南陵中学2年3組 37名の生徒でした。盛りだくさんに、いろいろと準備して臨んだのですが、50分の授業はあっという間に過ぎ時間が足りないくらいでした。プレゼンは伝えたいことを一つに絞った方が良いと反省点も多い体験でした。

授業はトヨタネの仕事内容と自己紹介と会社での役割、愛知県及び豊橋市の農業について、品種および品種改良について講義を行い、種を使った工作を行いました。南陵中学校区は豊橋南部の田原市と接する渥美半島の根元あたりの地域なので、ご両親または祖父母の方が農業をやっているという生徒が3割くらいおり、将来の進路として農業や農業に関連した仕事を考えるきっかけになればと思いました。

私にとっては孫のような年齢の人達とのふれあいだけでなく、豊橋市内の異業種の方と話しをする機会は新鮮



で刺激になりました。また企業の地元貢献という意味で、お客様訪問した際に今回の授業を話題にすることで親しみをもってもらえるのではと思います。

画像は、夜の懇親会の際に映していただいた、私の熱演中の様子です。

林 總喜

## くすのき特別支援学校・サテライト実習

今年も、豊橋市立くすのき特別支援学校・サテライト実習の受入れが始まりました。



くすのき特別支援学校は平成27年度に開設された特別支援学校で、小学部から高等部まであります。高等部職業コース2年生の2名が、3日にわたって職業体験を行います。

5月31日は総務課、7月5日は農場・ナーセリー課、9月13日は豊橋営業所店舗と施設事務課にて実習を行います。先日の総務課の実習では、書類の整理・瓦版記事入力などを行いました。この記事と、交通安全運転教育の記事を入力していただきました。

下記、自己紹介です。

①

名前…Tさん

好きな食べ物…フローズンヨーグルト

趣味…料理

好きな科目…家庭科

得意なこと…料理

苦手なこと…記憶すること

②

名前…Mさん

好きな食べ物…たこ焼き

趣味…ゲーム

好きな科目…体育

得意なこと…ゲーム

苦手な事…絵を描く

Tくんはパソコンの入力がとても速かったです。

難しい漢字も読めました。Mくんは要領がよく、指示されたことのさらに先を読んで行動できました。

残り2日間も、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

伊藤さつき

## ナーセリー通信

7月を迎え、ナーセリーでは、本格的な夏苗シーズンを前に、暑さ対策も含め、様々な環境整備を行っております。ハウス内の高温対策として、ハウスに塗布するタイプの遮熱材「トランスパー」で対応しております。

「トランスパー」には、ハウス内の温度を上げる原因となる赤外線を反射すると同時に、植物の光合成に必要な光線はしっかりと通す性質があります。トマトをはじめ、果菜類の接木苗の育苗のポイントは、接木前のステージでいかに光合成を活発に行わせるか？です。ハウス内の温度は上げずに、作物にしっかりと光を浴びさせて、がっちりした苗をつくりたい。このような苗生産環境を目指し、有効な資材などを活用して、高品質な野菜苗の安定生産に努めてまいります。



また、ハード面だけでなく、栽培方法やマニュアルの整備、スタッフの体調管理など、ソフト面も充実させて、本格的な夏苗シーズンに向けて、しっかりと準備をして、最高の商品を提供できるようにしていきます。

内藤寛文

## 豊川リレーマラソン2019

トヨタネ公開ホームページでは6月3日（月）に掲載。



6月2日（日）豊川リレーマラソンにトヨタネ6チームが参加しました。昨年は5チーム45名でした。

今年参加者構成はトヨタネ社員・元社員と取引会社の方々など含め58名の方々でした。全体では出走418チーム。

トヨタネのトップ時間 3:09:02.675と昨年より6分ほど後退してしまいました。3時間の壁を越すことは出来ず後退の結果となりましたね。

総合155位、昨年総合85位と大幅に遅れてしまいました。会場では昨年よりスピードが早い早いという話し声を耳にしました。

昨年優勝「図書館の人」が4位、何と2位が中学生です。昨年三連覇「図書館の人」の記録2時間14分、今回は2時間15分。決して悪くない成績です。

今年の総合優勝チーム名「I. A. R. C」（刈谷市）時間2:06:22.452、2位チーム名「厨二病〜リターンズ」（中学生）（豊川市）時間2:10:22.862。今年優勝チームは本気モードでエントリー、記録を狙っていた感じです。

トヨタネ6チーム完走しましたが2020年はオリンピックイヤーとなります。選抜チームを作って記録2時間代を目指したら如何でしょうか。

### 2020年はオリンピックイヤー

来年2020年はオリンピックイヤーとなる関係で参加各チームもギヤが本気モードが考えられます。2020年ゴロ合わせではないですが2時間20分台の数値目標を掲げる。ID野球ならぬIDマラソン。数値目標は仕事でも重要です。今回の記録は3時間10分～3時間30分以内、自己申告2km何分で走れるかデータから考える。記録を狙える人選、チームを編成する。基礎データを取る。

監督、マネジメント、データ管理できる人、健康管理などなど。仕事の業務運用と同様ですね。

チーム作りは本気モードと参加型モードを分ける。基本的に参加することが大事です。狭い業界ですが業者間で競うのも面白い話題づくりです。楽しみながら競走する「いいかも！」。

### 豊川リレーマラソンの良いところは！



小さな子どもたちも多く参加できるのが良いですね。

また豊川のゆるキャラ「すわポン、いなりん、狐娘ちゃん」の存在も場を和ませグッドです。準備体操「豊川市はじまりの体操」

は定番ですね。

また毎年のゲストランナーの参加も良いですね。



昨年は9頭身モデルの熊江琉唯さん（上の写真）がゲストランナーとして参加しました。



今年2019ゲストランナーの西谷綾子さん（下の写真）が大会を盛り上げてくれました。二人とも背が高いのでこの写真で分かります。

朝倉芳則

## 編集後記

社員の皆様へ

来月の社内報「瓦版」7月（34号）について  
◇社内報のトップ画像（サイズ：1Mb以上）の募集

7月にあった画像があれば送ってみてください。イメージに合えば使いたいと思います。

（トリミングなど加工します。）

◇コラム記事（文字数：100前後）の募集

詩、俳句、短歌、短編小説、PRなど。

お待ちしております。

朝倉芳則まで